

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

1 月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



☆「クロガネモチ モチノキ科」☆
常緑高木。樹皮は灰白色でよく目立つ。和名が「苦労がなく金持ち」と通じる事から縁起木として人気。



☆「オガタマノキ モクレン科」☆
日本で自生するモクレン科では唯一の常緑樹。ご神木とされる事が多い。花は直径 3cm 程と小さい。



「ナツミカン ミカン科」
明治時代に山口県で普及し全国に広まった。5 月に花が咲き、実は晩秋に黄色く色づき翌年の初夏に熟す。



☆「シタキシソウ キョウチクトウ科」☆
常緑つる性の多年草。長さ 10cm 程の実が対をなしている。割れて種髪（綿毛）のついた種子が出ている。



「ナンテン メギ科」
常緑低木。中国原産で古い時代に渡来したと言われている。縁起木として庭木などに人気がある。



「フユイチゴバラ科」
つる性の常緑小低木。全体に短い毛はあるがトゲはない。イチゴの仲間としては珍しく冬に実が熟す。



「スイセン ヒガンバナ科」
地中海沿岸が主な原産地の多年草。暖かい沿岸近くで野生化し群生している。良い香りがする。



「ツルコウジ サクラソウ科」
常緑小低木。全体的に柔らかい毛があり、茎が地面を這い群生する。葉の縁の鋸歯はあらい。実は直径約 5mm。



「ヤブコウジ サクラソウ科」
常緑小低木。別名「十両」。古典園芸植物の一つ。葉の縁の鋸歯は細かい。実は直径約 7mm。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

園地内のあちらこちらで様々な植物の果実を見る事ができます。
寒い日が続きますが、今しか観察できない植物や鳥たちに会いにきませんか(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026 年 1 月後半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

冬版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒埼灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ



千尋の浜

(上地の浜)

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス



外の取



至 R42

上野展望台

防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ツルコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチツツジ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

駒埼灯台

オオキンカメモシ

タフノキ

竹林

ツルコウジ

シロダモ

ウバコリ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

シロダモ

ホルトノキ

シロダモ

至休暇村

トペラ

ヤブツバキ

アキグミ

ヤブツバキ

竹林

木のすき間から
海が見えます。

シロダモ

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

松尾展望広場



凡例

- P 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段



地玉(じこく)の浜